

# インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト 新たなモデル地区の選定について



# 1. 新たなモデル地区の選定について

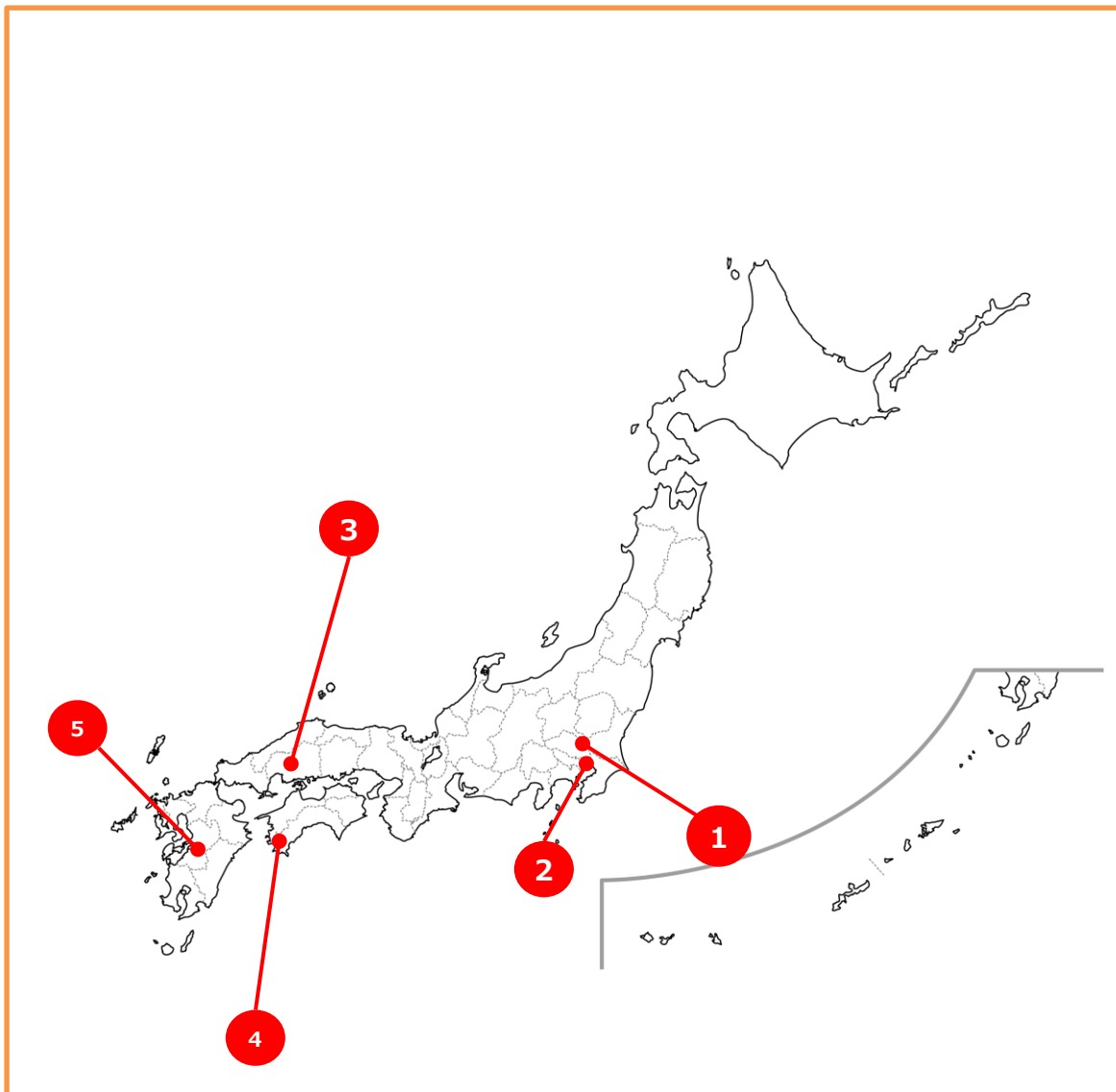
- 令和6年度より、新たにモデル地区を追加予定。
- 国管理施設等を対象に、各地方整備局からモデル地区の追加選定候補として推薦。

## 〔モデル地区を選定するにあたっての視点〕

1. 多様な分野のインフラ施設や挑戦的な取組から選定
  - インフラの種類による仕組みの違いを検証
  - インフラツーリズムの推進にあたり挑戦的な内容について検証
2. これまでのモデル地区がない地方を選定
  - 各地方整備局に、模範となるインフラツーリズム事例を造成。ノウハウを蓄積、今後の自立的な横展開を狙う。
3. 周辺観光資源との連携が見込まれる取組を選定（集客性、収益性）
  - インフラ自体の磨き上げとともに、周辺の観光コンテンツと連携する事例

## 2. モデル候補の追加選定候補

〔追加モデル候補地区の位置図〕





モデル候補地区のインフラ施設	
	施設
1	しゅとけんがいかくほうすいろ 首都圏外郭放水路
2	しんじゅく バスタ新宿
3	ぬくい 温井ダム
4	なかすじがわ よこぜがわ 中筋川ダム・横瀬川ダム
5	たての 立野ダム

# 2. モデル候補の追加選定候補 一概要一

	施設	施設概要	既存・今後連携を想定する組織	既存の見学内容	取組方針・連携の可能性
1	しゅとけんがいかく 首都圏外郭 ほうすいろう 放水路  埼玉県 春日部市	世界最大級の地下放水路で、周辺の中小河川の洪水を地下トンネルを通して江戸川に流す。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>首都圏外郭放水路利活用協議会 (春日部市、春日部市観光協会、春日部商工会議所、庄和商工会、江戸川河川事務所)</li> <li>東武トップツアーズ(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一立坑・ポンプ室・調圧水槽・インペラ部を公開し、説明内容ごとに4コースを提供</li> </ul> R4年度 約55,000人見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学箇所の追加(第三立坑、地下トンネル、現地でのVR体験)</li> <li>既存見学箇所の充実(調圧水槽のカラー照明、調圧水槽のキャットウォーク及びエスコートレール延伸)</li> <li>地域周遊につながり、インバウンドをターゲットとしたインフラツーリズムの更なる発展を模索</li> </ul>
2	しんじゅく バスタ新宿  東京都 新宿区	日本最大級の交通結節点事業として新宿駅付近の線路上空に整備。高速バス・タクシーの乗車場や歩行者空間などとJR施設を一体的に集約し、利便性を向上。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿高速バスターミナル株式会社</li> <li>公益社団法人日本バス協会</li> <li>東京国道事務所</li> <li>新宿グランドターミナルエリアマネジメント協議会</li> <li>公益社団法人東京観光財団</li> <li>一般社団法人新宿観光振興協会</li> <li>新宿区、渋谷区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね1ヶ月に1回程度、国土交通省内や国際機関等の依頼を受け、国内外に見学会を実施</li> <li>都内大学生の協力によるバスタ活用イベントを実施</li> </ul> 年間利用者数 約780万人 (2023年実績) 新宿と全国約300都市を結び、1日約1,200便(コロナ前は最大1,700便)が運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>緻密な高速バスのオペレーション風景や日本唯一の線路上空に人工地盤を構築した建設技術など一般客が入れない箇所を含めて、バスタ新宿施設の紹介</li> <li>全国約300都市とバスを通じた新しい形の地方振興を模索</li> </ul>
3	ぬくい 温井ダム  広島県 安芸太田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒部ダムに次ぐ日本で2番目に高いアーチ式ダム。太田川水系のダムで、下流の広島市等を洪水から守る。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>龍姫湖利用協議会議 (安芸太田町、温井ネットワーク協議会、地域商社あきおおた(地域DMO)、温井ダム管理所 等)</li> <li>龍姫湖祭り実行委員会</li> <li>PUBz WAKESURF: ウェイクサーフィン</li> <li>らびっどkayak School: カヤック</li> <li>温井ダムリゾート</li> </ul> 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム本体や資料室を自由に見学が可能。10名以上の団体には、職員の案内も可能。</li> <li>ウェイクサーフィン等によるダム湖利用も活発</li> </ul> R4年度 見学会311人(17回)、民間ツアー73人(5回) 温井ダム周辺観光客数は約10万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム見学とダム湖アクティビティ連携させ、地域商社あきおおた(地域DMO)によるガイドが特別感を演出した高付加価値の有料見学ツアーを提供</li> <li>町内の特別名勝三段峡等の自然資源、神楽等の伝統文化等の町内の観光資源を活用した観光地域づくり</li> </ul>

# 2. モデル候補の追加選定候補 一概要一

施設	施設概要	既存・今後連携を想定する組織	既存の見学内容	取組方針・連携の可能性
4 なかすじがわ 中筋川ダム よこぜがわ 横瀬川ダム 高知県 宿毛市	渡川水系(四万十川)の支流である中筋川と横瀬川に建設された重力式コンクリートダム。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム利活用調整協議会 (宿毛市、四万十市、三原村、宿毛商工会議所、中村商工会議所、三原村商工会、幡多土木事務所宿毛事務所、渡川ダム統合管理事務所等)</li> <li>ダム活元気ネットワーク (上記の実務担当に加え、宿毛市観光協会、四万十市観光協会、地元地区等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中筋川ダム: 通常のダム見学に加え、蛍湖まつりでは体験型ダム見学(クイズラリー)を実施。見学者には洗浄放水を披露。</li> <li>横瀬川ダム: 通常ダム見学に加え、堤体クライミングやサイクリングイベントと連携したダム見学を実施。</li> </ul> 約1,700人見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存イベント(中筋川ダム蛍湖まつり)内での湖面利用(SUP、足こぎSUP)の有料イベントの開催の継続や、公共交通機関と連携したサイクリングイベント、クライミング体験の組み合わせなどを継続し、今後は2ダムを連携させたツアーづくりなどに発展させることを検討。</li> <li>中筋川ダム、横瀬川ダム及びその周辺の活用によるかわまちづくり計画を策定し、ダム周辺の利便性向上や魅力向上による賑わいの創出によるダムなどを活かした地域活性化</li> </ul>
5 たての 立野ダム 熊本県 南阿蘇村	阿蘇カルデラ内の白川と黒川が合流地点付近に建設された流水型ダム。R5年度に試験湛水が終了した。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>立野ダム周辺かわまちづくり協議会 (南阿蘇村・阿蘇ジオパーク推進協議会・(一社)みなみあそ観光局)</li> <li>熊本大学 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>立野ダム展望所より見学、立野ダム広報室での説明</li> <li>バス等にて立野ダムサイト内へ入り、施工状況、周辺環境(ジオ・柱状節理)の解説など</li> </ul> 令和5年度実績: 435名	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇ジオパーク推進協議会と「立野ダム周辺かわまちづくり協議会」との連携による、熊本地震災害・復興ツーリズム及び阿蘇の地形地質から立野ダム建設までの流れを組み込んだジオ・インフラツーリズムの提供</li> <li>ジオガイドによる説明、語り部によるガイド等の養成をみなみあそ観光局、自治体等と連携して実施し、立野ダムインフラツアーと併せた継続的な実施体制の構築及びツアーの提供</li> </ul>

## 2. モデル候補の追加選定候補 —モデル地区としての評価—

	施設	目標・課題	モデル地区としての評価
1	しゅとけんがいかくほうすいろ 首都圏外郭放水路  埼玉県春日部市	<ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンドが月300人程度が来訪しており、インバウンド対応モデルとして推進したい</li> <li>立地する春日部市の地域の周遊につながっていない</li> <li>見学者数をさらに増やしたいが、既存のツアーのキャパの9割となっており、新たなツアー造成を行いたい</li> <li>コストをかけずに見学者数を増加させる方法を見いだしたい</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンドに対応したインフラツーリズムの検討は挑戦的内容</li> <li>インフラツーリズムの取組としては、国管理施設の中で先進事例であるが、インフラツーリズムの更なる展開について模索が可能</li> </ul>
2	しんじゆく バスタ新宿  東京都新宿区	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国バスタプロジェクトの中で、バスタの広報活動や利用普及を図りたい</li> <li>観光振興を図る既存の組織が全くなく、一からコンテンツ造成を図る必要がある</li> <li>1日1200便300都市への運行される高速バスのオペレーション等の施設自体の見学やバスタ内で地域への誘客につながる広報を展開したい</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスタはこれまでにないインフラタイプで、モデル地区の実証実験による検討が妥当</li> <li>前例となる振興する取組がなく、支援が必要</li> <li>バスタを起点として、全国の地方誘客にも資する挑戦的な内容</li> </ul>
3	ぬくい 温井ダム  広島県安芸太田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方に、モデル地区がない</li> <li>広島市内から1時間程度のアクセスで、ダム湖地域には年10万人程度が来訪</li> <li>地域DMOから、中四国で唯一のウェイクサーフィンスクールを初めとする湖面アクティビティと温井ダム見学で、高付加価値商品を造成したいという地元から要望</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方に初のモデル地区となる。地方整備局による地域振興に資するインフラツーリズムのノウハウを獲得のため、支援が必要</li> <li>インフラ施設の観光施設としてポテンシャルが高く、地元からも活用の要望があり、地域が一体となった取組が見込める</li> </ul>

## 2. モデル候補の追加選定候補 —モデル地区としての評価—

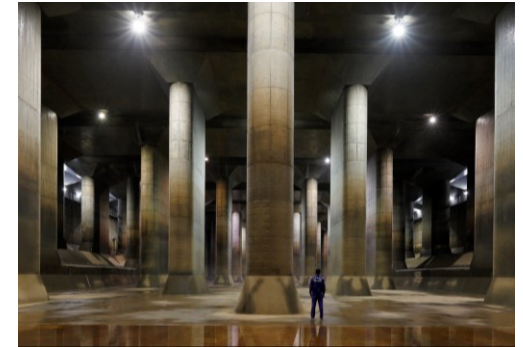
	施設	目標・課題	モデル地区としての評価
4	<p>なかすじがわ 中筋川ダム</p> <p>よこぜがわ 横瀬川ダム</p> <p>高知県宿毛市</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のサイクリングやSUPイベントが活発に企画されている。またダム壁面のロッククライミングが民間により提供されており、発展させつつ持続的に提供したい</li> <li>2ダム連携により、さらなる地域振興に取り組みたい</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国には既にモデル地区が2箇所あり、地方整備局のノウハウの横展開を期待</li> <li>ターゲットとなる来訪者が、高知県の地元となっており、実証実験の観点では選定しづらい</li> </ul>
5	<p>たての 立野ダム</p> <p>熊本県南阿蘇村</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域DMOにより、すでに800円でガイド提供しているが、R5年度にダムの試験湛水が終了し、R6年度より管理移行にあわせ、完成後のダムを活用したツアーの企画・開催に取り組む</li> <li>ジオパークと連携による、阿蘇火山のストーリーや熊本地震の震災のストーリーでのコンテンツ造成を図りたい</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ造成する上での地域の強いストーリーがある</li> <li>一方、九州には既にモデル地区の鶴田ダムがあり、立野ダムでもコンテンツを有料化し提供済み</li> </ul>

# 3. モデル地区の選定(案)

しゅとけんがいかくほうすいろ

## ○首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市)

- 周辺の中小河川の洪水を地下トンネルを通して江戸川に排水する世界最大級の地下放水路
- 国管理施設におけるインフラツーリズムの取組としては先進事例
- 地域周遊につながり、インバウンド対応を含めたインフラツーリズムの更なる発展を検討するモデル



しんじゅく

## ○バスタ新宿(東京都新宿区)

- 日本最大級の交通結節点事業として、高速バス・タクシーの乗車場や歩行者空間などとJR施設を一体的に集約し、新宿駅付近の線路上空に整備
- これまでモデル地区にない新しいインフラのタイプ
- 施設には高速バスが1日1,200便、300都市に就航し、そのオペレーション等の施設自体でのインフラツーリズムの検討、また高速バスを通じた地方誘客を導くモデル



ぬくい

## ○温井ダム(広島県安芸太田町)

- 黒部ダムに次ぐ日本第2位の高さとなるアーチ式ダム
- 中国地方地方初のモデル地区として、地域の模範的なインフラツーリズムの取組となることを期待
- 河川空間のオープン化による、ダム見学に加え、ウェイクサーフィン等の湖面や周辺活動の活性化を図るモデル

